

～環境経営レポート～

【レポートの対象期間：2023年7月～2024年6月】



《ご挨拶》

より良く、より安く、より速く

1897年(明治30年)池原由松が
当社の前身である請負業「池原組」を高崎市で創業
昭和初期に二代目池原省三の時代になって
縁あって吾妻の地に営業の拠点を移しました。
以来、1997年には創業100年
1998年には会社設立50年を迎えることが出来ました。
これを記念して現在地に本社ビルを新築しました。
これもひとえに、仕事の発注先であるお客様の
ご愛顧の賜物と感謝しております。

当社は、安全を第一に
「より良く、より安く、より速く」をモットーに、仕事を進めてまいりましたが
更にお客様のニーズに応えるべく
「技術と品質保証のレベルアップをはかり、顧客の満足と信頼の確保に努める」
べく品質保証の国際標準規格「ISO9001」の認証を取得し
更なるレベルアップに取り組んでおります。

21世紀を迎え「この技術を自然のために、人のために」生かし
20世紀に失われた「人間喪失」の回復を目指し
社員一人一人が、まず良き社会人として
「明るく、楽しく、面白く」仕事に取り組み
より良い製品を提供することを通じて地域社会に貢献したいと考えております。

今後ともなおいっそうのご指導、ご鞭撻、ご支援をお願い申し上げます。

池原工業株式会社
代表取締役 池原 純

《目次》

1. 環境経営方針	P-1
2. 事業活動の規模	P-2
3. EA21推進体制	P-4
4. 環境経営目標とその実績	P-5
5. 環境経営計画の取組みと評価	P-8
6. 環境関連法規制の遵守	P-11
7. 代表者による全体の評価と見直し・指示	P-11
8. 環境教育の取組み事例	P-12



1. 環境経営方針

〔基本理念〕 -Philosophy-

池原工業株式会社は、かけがえのない地球を守ることが全社の共通認識とし、次の基本方針に則し、社員一人ひとりが自覚をもって、事業活動のあらゆる面において環境に配慮した行動を実践し、新技術を活用して生産性の向上に努め、環境と人にやさしい豊かな社会の実現のために貢献することを目指します。

〔基本方針〕 -Basic Policy-

環境保全活動を推進するにあたり、以下に主な活動項目を掲げ取組みます

1. 当社の主力事業である、総合建設業、建設資材の製造販売等の各領域において、技術的・経済的な事情を考慮の上、環境に与える影響を低減するとともに、循環型社会の実現に努めます。
 - ①二酸化炭素排出量削減のため、使用電力削減・使用化石燃料削減・廃棄物の単純焼却削減に努めます。
 - ②事業活動で発生する廃棄物は、発生を抑制するとともに再使用の向上に努めます。
 - ③限りある水は、使用量削減のため節水に努めます。
 - ④ICT施工活用現場の件数増加を目指し、生産性の向上に努めます。
2. 環境経営の継続的改善を推進するにあたり、環境経営目標・環境経営計画を策定し取組みます
策定した環境目標・環境計画は定期的にあるいは必要に応じて見直します。
3. 事業活動において、環境に関わる法律・規制その他公的基準を遵守します。
4. 環境経営方針は、全社員に周知するとともに、環境教育を行い社員の環境に関する意識の向上を図り、社員一人ひとりが環境問題に関心を持ち、行動できるように努めます。
5. 環境管理に関する情報は、社内外に公表し、地域社会とのコミュニケーションを図ります。

2018年 7月 1日
(改訂 2019年 9月 2日)

池原工業株式会社
代表取締役 池原 純

2. 事業活動の規模

1. 事業所及び代表者名

池原工業株式会社
代表取締役 池原 純

2. 所在地

本社 : 群馬県吾妻郡東吾妻町大字原町160
TEL : 0279-68-7111 FAX : 0279-68-7119
東橋工場 : 群馬県吾妻郡東吾妻町大字原町246
TEL : 0279-68-7151 FAX : 0279-68-7159
前橋営業所 : 群馬県前橋市問屋町2丁目13-17
TEL : 027-251-0381 FAX : 027-251-0380
東京営業所 : 東京都世田谷区等々力5-6-1 ヨナビル尾山台202号
TEL : 03-5706-1756 FAX : 03-5706-1756
機材部 : 群馬県吾妻郡東吾妻町大字郷原715-1
TEL : 0279-67-2336 FAX : 0279-67-2086
郷原給油所(商事部) : 群馬県吾妻郡東吾妻町大字郷原715-3
TEL : 0279-67-2337 FAX : 0279-67-2335

3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

代表責任者 : 代表取締役 池原 純
環境管理責任者 : 専務取締役 池原 裕之
事務局・担当者 : 中島 英行

mail - officeinfo@ikehara.co.jp
URL - <https://www.ikehara.co.jp>



4. 対象範囲

池原工業株式会社 全組織及び全活動

5. 事業の内容

総合建設業(土木工事、建築工事、舗装工事、浚渫工事、上下水道工事他)
建設資材の製造販売(生コンクリート、アスファルト混合物他)
各種試験(コンクリート、土質、非破壊検査等)
石油類の販売

6. 事業規模

資本金 : 9,800万円
創業 : 明治30年(1897年)
設立 : 昭和23年(1948年)

活動規模	単位	2023年度(85期)	2022年度(84期)	2021年度(83期)
工事件数	件	309	315	329
売上高	円	37億1500万	42億6800万	53億6400万
従業員数	人	109	111	110
延べ床面積	m ²	37,806	37,806	37,806

* 2023年度の売上高は2023年7月～2024年6月の12ヶ月のデータです

7. 建設業許可

許可番号 : 国土交通大臣 許可(特-4)第00-000979号
 許可の有効期限 : 2022年4月28日～2027年4月27日まで
 建設業の種類 : 土木工事業 熱絶縁工事業
 大工工事業 さく井工事業
 とび・土木工事業 水道施設工事業
 屋根工事業 建築工事業
 タイル・れんが・ブロック工事業 左官工事業
 鉄筋工事業 石工事業
 しゅんせつ工事業 管工事業
 ガラス工事業 鋼構造物工事業
 防水工事業 舗装工事業

板金工事業
 塗装工事業
 内装仕上工事業
 造園工事業
 建具工事業
 解体工事業

8. 産業廃棄物収集運搬業

許可番号 : 群馬県 許可 第01000035632
 許可の有効期限 : 2021年1月9日～2026年1月8日まで
 廃棄物の種類 : 燃え殻 金属くず
 汚泥 ガラスくず
 廃プラスチック類 コンクリートくず
 木くず 陶磁器くず
 ゴミくず がれき類
 ※自社運搬のみ

9. ISO

適用規格 : ISO 9001:2015/JIS Q 9001:2015
 認証番号 : BCJ-QMS-0092
 審査登録機関 : 一般財団法人 日本建築センター

10. 群馬環境GS

認証番号 : 第200818号

11. 群馬いきいきGカンパニー

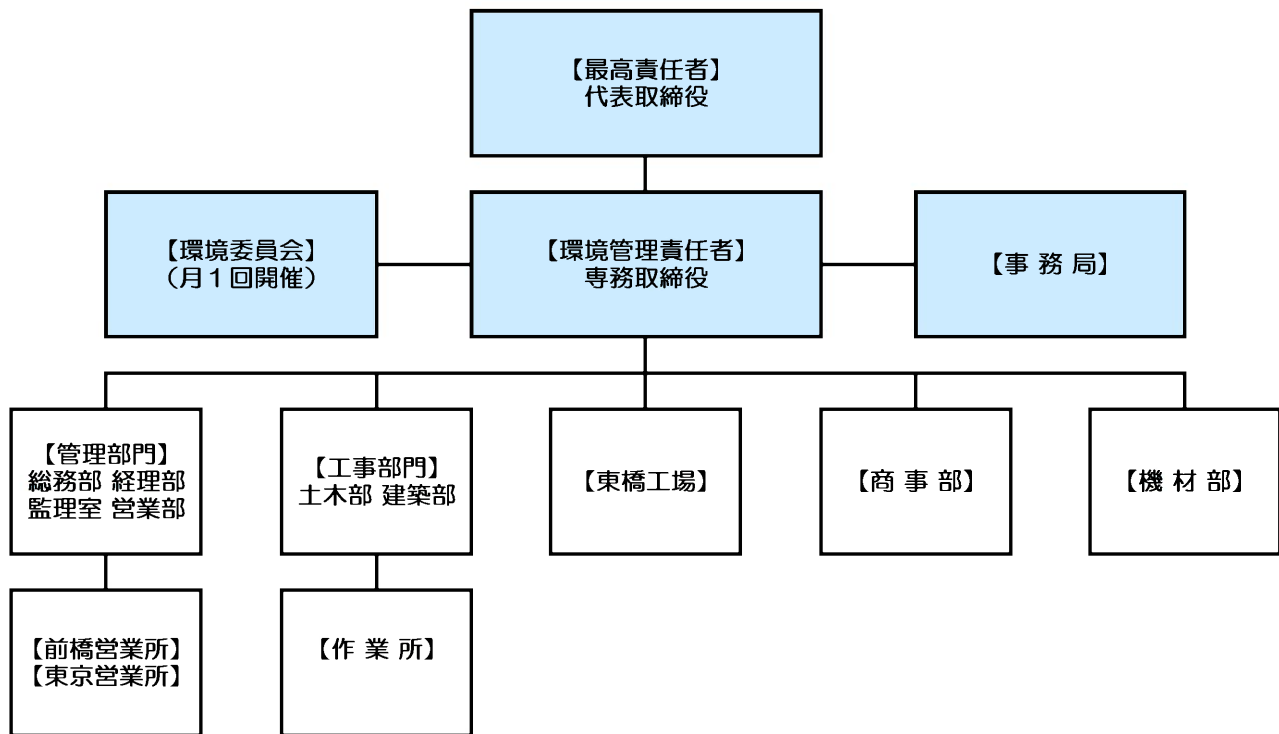
認証番号 : 第28-B-193号

12. 環境負荷実績

環境への負荷	2023年度(85期)	2022年度(84期)	2021年度(83期)
二酸化炭素排出量(t-CO ₂)	1,395	1,578	1,518
廃棄物排出量(t)	13,846	8,789	10,426
水資源投入量(m ³)	1,614	1,773	1,764

*2023年の実績は、2023年7月～2024年6月の12ヶ月のデータです

3. EA21推進体制



職 名	役 割
最高責任者	①環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。該当責任者には、現在の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。 ②エコアクション21の構築・運用・維持に必要な経営諸資源（人材・資金・機器・設備・技術・技能を含む）を準備する。 ③環境経営方針を制定する。 ④エコアクション21の構築・運用に関する情報を収集し、環境経営方針・環境経営目標をはじめシステム全体の見直しを行い、必要に応じ、改訂を指示する。
環境管理責任者	①エコアクション21に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するために推進組織を統括する。 ②エコアクション21の構築と運用を円滑に行い、最高責任者による見直しのための情報として、構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。
事務局	①事務局として、環境管理責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般を所管する。

※環境記録の保管期間は2年とする

4. 環境経営目標とその実績



1. 環境経営目標とその実績

* 購入電力の排出係数は、0.457〔環境省データ：令和3年度実績（東京電力エナジーパートナー）〕を使用しています。

* 2023年の実績は、2023年7月～2024年6月の12ヶ月のデータです。

◆作業所

環境経営目標	基準値	今年度目標				中長期の目標 (3年後)	
	2022年 (84期)	2023年 (85期)				2024年 (86期)	2025年 (87期)
	実績	目標	目標値	実績	目標の達成状況	目標	目標
①売上高100万円当たりの二酸化炭素排出量の削減(t-CO ₂ /100万円)	0.154t-CO ₂ /100万円(出来高)	2022年実績に対して1%削減	0.153t-CO ₂ /100万円	0.162t-CO ₂ /100万円	× +6% (未完成工事含む)	2022年実績に対して2%削減 0.160t-CO ₂	2022年実績に対して3%削減
②売上高100万円当たりの産業廃棄物排出量の削減(t/100万円)	1.657t/100万円(出来高)	2022年実績に対して1%削減	1.64 t/100万円	4.67t/100万円	× +185% (未完成工事含む)	2022年実績に対して2%削減 4.62t	2022年実績に対して3%削減
③本業に関する目標	—	生産性向上の一環として産廃電子マニフェスト使用促進 2022年実績 24件より10%増	—	—	○ 産廃電子マニフェスト使用43件	生産性向上の一環として産廃電子マニフェスト使用促進	生産性向上の一環として産廃電子マニフェスト使用促進

2. 主な環境負荷実績

◆作業所

環境への負荷	2023年度(85期)	2022年度(84期)
①二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	481	585
②廃棄物排出量 (t)	13,842	6,287

◆東橋工場・機材部・商事部

環境経営目標	基準値	今年度目標				中長期の目標 (3年後)	
	2022年 (84)	2023年 (85期)				2024年 (86期)	2025年 (87期)
	実績	目標	目標値	実績	目標の達成状況	目標	目標
①売上高100万円当たりの二酸化炭素排出量の削減(t-CO ₂ /100万円)	1.295 t-CO ₂ /100万円 (出来高)	2022年 実績に 対して 1%削減	1,282t- CO ₂ / 100万円	1,065 t-CO ₂ / 100万円	○ -17%	2022年 実績に 対して 2%削減 1,054t-CO ₂	2022年 実績に 対して 3%削減
②売上高100万円当たりの産業廃棄物排出量の削減(t/100万円)	3.59t /100万円 (出来高)	2022年 実績に 対して 1%削減	3.55 t /100万円	2.9 t /100万円	○ -18%	2022年 実績に 対して 2%削減 2.87t	2022年 実績に 対して 3%削減
③売上高100万円当たりの水資源投入量の削減(m ³)	1.5m ³ /100万円 (出来高)	2022年 実績に 対して 1%削減	1.48m ³ /100万円	1.0m ³ /100万円	○ -36%	2022年 実績に 対して 2%削減 0.99m ³	2022年 実績に 対して 3%削減
④化学物質取扱及び管理の徹底	—	取扱量の把握	—	—	各事業所使用物質のSDS取寄せ把握	管理の徹底	管理の徹底
⑤本業に関する目標 周辺地域での環境活動	—	本社前 歩道清掃 実 施	—	—	○ 実施した	本社前 歩道清掃 実 施	本社前 歩道清掃 実 施

2. 主な環境負荷実績

◆東橋工場・機材部・商事部

環境への負荷	2023年度(85期)	2022年度(84期)
①二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	869	901
②廃棄物排出量 (t)	2,380	2,499
③水資源投入量 (m)	777	1,043



◆本社・前橋営業所・東京営業所

環境経営目標	基準値	今年度目標				中長期の目標 (3年後)	
	2022年 (84)	2023年 (85期)				2024年 (86期)	2025年 (87期)
	実績	目標	目標値	実績	目標の達成状況	目標	目標
①二酸化炭素排出量の削減(t-CO ₂)	91.076 t-CO ₂	2022年実績に対して1%削減	90.165 t-CO ₂	81.452 t-CO ₂	○ -10%	2022年実績に対して2%削減 80.637t-CO ₂	2022年実績に対して3%削減
②一般廃棄物排出量の削減(t)	3.24t	2022年実績に対して1%削減	3.2t	2.3 t	○ -27%	2022年実績に対して2%削減 2.28 t	2022年実績に対して3%削減
③水資源投入量の削減(m ³)	528m ³	2022年実績に対して1%削減	523m ³	546m ³	× +4%	2022年実績に対して2%削減 541m ³	2022年実績に対して3%削減
④本業に関する目標	—	本社前歩道清掃実施	—	—	○ 実施した	本社前歩道清掃実施	本社前歩道清掃実施

5. 環境経営計画の取組みと評価

＊2023年7月～2024年6月の12ヶ月の活動の取組みと評価をしています

◆作業所

環境経営計画	環境経営計画の取組結果とその評価
	次年度の取組内容
1. 二酸化炭素排出量の削減 ①空調温度適正化・表示 (夏28℃、冬20℃) ②節電の表示(照明・電源オフ等) ③エコドライブ推進・表示 ④電力量・ガソリン等の集計 ⑤目標達成状況・活動進捗状況の確認	工事作業所内各所掲示・標示によりエコ活動に対する啓蒙は進んでいる。電力消費量は392,435kwhと前年比では87%増量となった。高圧電力を要する施工中の工種に左右される結果となったと考える。 灯油使用減は12月気温の高止まりと工種の影響による。 現場事務所不在時の消灯、建設機械待機時のアイドリングストップ・エコドライブについて、継続して意識啓蒙を行う。
2. 廃棄物排出量の削減 ①分別ルール徹底・表示、 廃棄物置場の整理整頓 ②裏紙使用ルールの徹底・表示 ③廃棄物排出量の集計 ④目標達成状況・活動進捗状況の確認	群馬県の産業廃棄物担当部署による指導や社内巡視時指導により産業廃棄物一時保管場所の明示や分別廃棄は定着している。現場事務所における裏紙使用も意識して実行されている。 再資源化可能な廃棄物処理を維持したい。
3. 本業に関する目標 ①新技術導入による生産性向上 (ソフトウェア、ICT建機)	公共工事発注者の方向付けにより遠隔臨場による確認機会が増加している。コロナ禍を経ての効率化の取り組みであり、発注者主導による生産性向上のための取り組みが進んでいる。 タブレット端末を利用して施工管理情報の共有化を開始する予定であり、紙減量化につながることを期待する。

◆東橋工場・機材部・商事部

環境経営計画	環境経営計画の取組結果とその評価
	次年度の取組内容
1. 二酸化炭素排出量の削減 ①空調温度適正化・表示 （夏28℃、冬20℃） ②節電の表示（照明・電源オフ等） ③エコドライブ推進・表示 ④電力量・ガソリン等の集計 ⑤目標達成状況・活動進捗状況の確認	電力消費量が大きい、東橋工場でのデマンド監視を行いつつ、新造した生コンプラントの高効率化効果もあって、電力消費は減少したが、商事部・機材部における使用量が増えた。 軽油・重油消費量若干減少。 東橋工場内骨材置場屋根を活用したソーラーパネル稼働開始し、電力購入削減（11%減）への取組を開始した。建設機械待機時のアイドリングストップ・エコドライブについて、継続して意識啓蒙を行う。
2. 廃棄物排出量の削減 ①分別ルールの徹底・表示、 廃棄物置場の整理整頓 ②裏紙使用ルールの徹底・表示 ③廃棄物排出量の集計 ④目標達成状況・活動進捗状況の確認	月例の作業場巡視の効果もあり、廃棄物分別・日常的整理整頓は継続して行われている。過去の審査時に指導あったダンブ荷台残油の土壌浸透防止対策も継続し、汚染防止に努めている。 産業廃棄物の電子マニフェストを利用開始し、ペーパーレス促進を図っている。出荷した生コンやアスコンの残量引取り分を再資源化できる仕組みの構築を検討したい。
3. 水資源投入量の削減 ①毎月のメータの確認 （漏水チェック） ②節水表示 ③目標達成状況・活動進捗状況の確認	メーター確認を行って毎月の使用量を管理したことが漏水の早期修理につながっている。水質汚濁防止法に関わる郷原給油所洗車機設置届出は処置済である。 東橋工場事務所のトイレ改修と各事業所の漏水修理後は消費量減少傾向であり、今後消費量は安定すると思われる。
4. 化学物質取扱及び管理の徹底 ①SDSの入手 ②取扱商品・購入量の把握 （機材部）	定期的にSDSを取り寄せ、把握・管理を行っている。 SDSをもれなく取り寄せ、有害性の把握・取り扱い管理を行っていきたい。
5. 本業に関する目標 ①周辺地域の環境活動への参加	本社前、国道歩道部の清掃活動を行った。また業界団体主催の活動に積極的に参加している。 地域に必要とされる企業を目指して環境改善活動を継続していく。

◆本社・前橋営業所・東京営業所

環境経営計画	環境経営計画の取組結果とその評価
	次年度の取組内容
1. 二酸化炭素排出量の削減 ①空調温度適正化・表示 (夏28℃、冬20℃) ②節電の表示(照明・電源オフ等) ③エコドライブ推進・表示 ④電力量の集計 ⑤目標達成状況・活動進捗状況の確認	空調機チラー運転量コントロール等、効率的運転により9%減となった。ガソリン消費減については保有台数の減少と車両更新によると思われる。 空調設備メンテナンスにより運転状況改善を図り、空調を補助している扇風機や足元ヒーターの使用量を減らすことで電力消費削減につなげたい。
2. 廃棄物排出量の削減 ①分別ルール徹底・表示、 廃棄物置場の整理整頓 ②裏紙使用ルールの徹底・表示 ③目標達成状況・活動進捗状況の確認	活動は継続して行われているが、廃棄物の減少はダンボール・書類廃棄量の減少によるところであり根本的な削減に至っておらず削減の糸口がつかめないのが実状である。 産業廃棄物マニフェストの電子版を使用開始し、各種配付書類の順次廃止を進めている。
3. 水資源投入量の削減 ①毎月のメータの確認 (漏水チェック) ②節水表示 ③目標達成状況・活動進捗状況の確認	メーター確認を行って毎月の消費量を管理したことが他の事業所での漏水の早期発見につながっている。 消費量は昨年並みとなっている。 ポスター掲示等により意識啓蒙を続け、継続的改善を図りたい。
4. 本業に関する目標 ①周辺地域の環境活動への参加	本社前、国道歩道部の清掃活動を行った。また業界団体主催の活動に積極的に参加している。 地域に必要とされる企業を目指して環境改善活動を継続していく。

6. 環境関連法規制の遵守

1. 当社に適用となる主な環境関連法規

法規制等の名称	遵守事項	遵守状況
大気汚染防止法	特定施設の届出、ばい煙測定	遵法
水質汚濁防止法	特定施設の届出	遵法
フロン排出抑制法	点検・記録の作成	遵法
騒音規制法	特定施設の届出	遵法
振動規制法	特定施設の届出	遵法
PRTR法	対象物質の届出	遵法
廃棄物処理法	委託基準（契約書・許可証）、 マニフェスト交付・保存及び 交付状況報告 廃蛍光管管理	遵法
建設リサイクル法	対象工事の届出	遵法

※各事業所について該当するものを一部抜粋して掲載しています

2. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規遵守状況の確認において、環境関連法規への違反はありません。

なお、関係当局より違反等の指摘はありません。

7. 代表者による全体の評価と見直し・指示

昨年度から継続施工中の発電所導水路リニューアル工事・校舎等建築物解体工事により廃棄物排出量が多い状態が続いている。

本社及び東橋工場に設置したソーラーパネルにより電力購入コストは低減されており、カーボンニュートラルを進める取組にもつながっている。

来期は施工管理システムアプリの導入を建築部門で検討しており、タブレット端末上での図面や写真、打合せ事項の共有を行えるようになればDXが格段に進むと思われる。

所有設備を大切に維持し使い続けることは、SDGs目標の根幹であると思うが、高効率なものに計画的に更新し、手間やランニングコストをカットして生産性を向上させ、地域企業のリーディングカンパニーであり続けていきたい。

代表取締役 池原 純

8. 環境教育の取組み事例

●ICT仕様モーターグレーダー（排出ガス2014年基準適合）



●ミーティングボード MAXHUB



●東橋工場エネルギーモニター



●本社前国道歩道部清掃ボランティア活動



●残コン活用リサイクルブロック



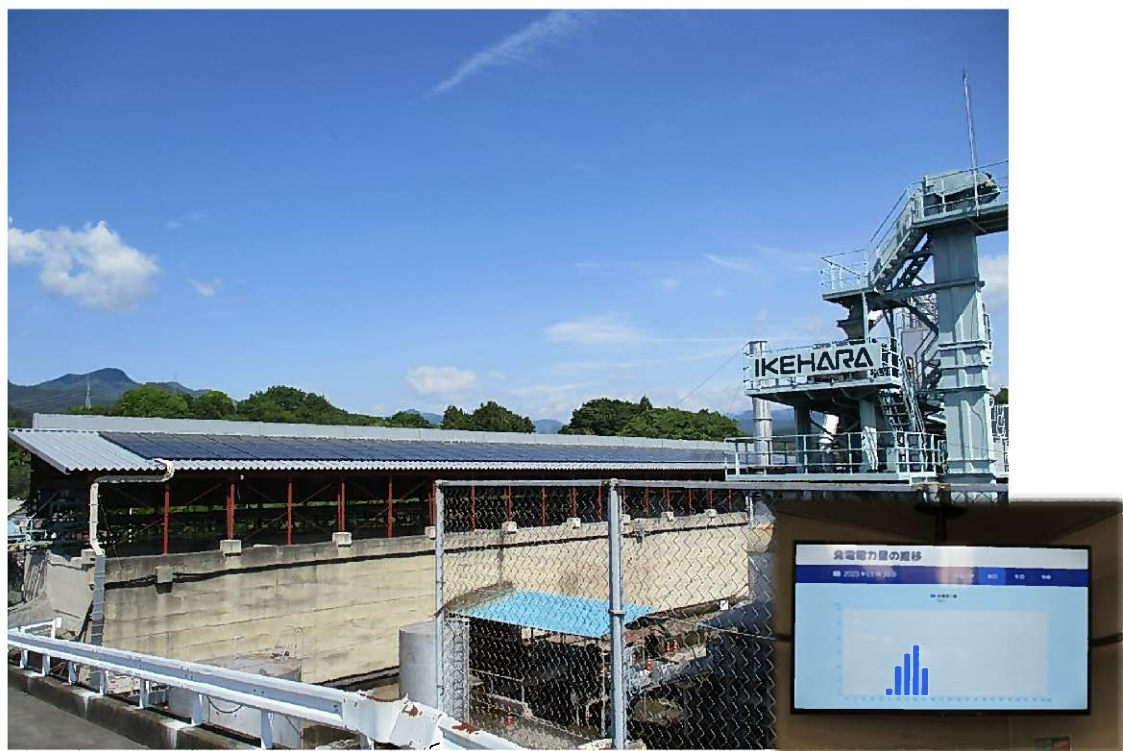


SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS





本社内 発電電力自家消費型ソーラーパネル
2023年1月竣工



東橋工場内 発電電力自家消費型ソーラーパネル
2023年5月竣工